

- 問1 日本の諸地域の気候を分析した資料において、ある都市は、夏から秋にかけて降水量のピークが見られる一方で、冬の降水量は非常に少ないという、太平洋側の気候に近い特徴を示しています。瀬戸内海沿岸に位置しながらこのような降水パターンの特徴を持つ都市として、最も適切なものを答えなさい。

(2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 大阪市

2. 新潟市

3. 福岡市

4. さいたま市
- 問2 近畿地方のある県について述べた次の文のうち、統計的な特色と一致する県名はどれですか。「古都としての歴史的背景から重要文化財件数が1,300件を超えて非常に多く、また、大阪などの大都市へ通勤する人々が住む郊外の住宅地が広がっているため、100世帯あたりの乗用車保有台数が111台を超えている。」

(2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 滋賀県

2. 和歌山県

3. 奈良県

4. 京都府
- 問3 中京工業地帯に属する三重県の産業構造について、隣接する愛知県と比較した際の説明として最も適切なものはどれですか。なお、愛知県は製造品出荷額等の半分以上を輸送用機械が占めているものとします。

(2024年 鳥取県公立入試 類似)

1. 輸送用機械が最大のシェアを占める点は共通しているが、三重県の方が食品や鉄鋼など幅広い部門が上位に含まれる。

2. 愛知県は内陸部での電子部品製造が中心であるが、三重県は沿岸部での造船業に特化した構造となっている。

3. 三重県は輸送用機械の割合が愛知県よりも高く、県内のほぼすべての製造品出荷額を自動車産業が占めている。

4. 愛知県は軽工業の割合が高いのに対し、三重県は伝統工芸品を主軸とした地場産業が製造品出荷額の過半数を占める。
- 問4 近畿地方のある県に関する統計において、人口密度が369.6人、昼夜間人口比率が90.0、人口増減率がマイナス0.53%という数値が示されています。これらの特徴に合致する県名として正しいものを次のうちから選んでください。

(2021年 秋田県公立入試 類似)

1. 秋田県

2. 奈良県

3. 鳥取県

4. 北海道
- 問5 2018年の統計において、野菜の産出額が約150億円に達し、米の約73億円や果実の約67億円を大きく上回っている都道府県があります。このように、大消費地である都市の周辺で、鮮度が重要視される野菜などを中心に生産する農業の形態を何と呼びますか。

(2022年 大阪府公立入試 類似)

1. 都市近郊農業

2. 抑制栽培

3. 施設園芸農業

4. 促成栽培
- 問6 近畿地方を日本海側から太平洋側へ横切るように切断した際の標高の変化を説明した記述として、地形の成り立ちや特徴を踏まえた表現として最もふさわしいものを選んでください。

(2026年 山口県公立入試 類似)

1. 北端から南端まで標高100メートル以下の平坦な平野が続いており、全域で稲作を中心とした大規模な農業が行われている。

2. 北端の日本海側には若狭湾などの沿岸低地が見られ、中央部には標高の高い山地が険しくそびえ、南端の太平洋側にはリアス海岸や沿岸低地が分布する。

3. 日本海側には標高3,000メートルを超える火山が連なり、中央部の広大な盆地を経て、太平洋側にはなだらかな台地が広がっている。

4. 中央部に広大な高原地帯があるため、日本海側と太平洋側のどちらから向かって、標高が一定の高さで維持される平坦な断面図となる。
- 問7 江戸時代の大坂が「天下の台所」と呼ばれるほどの商業・物流の中心地となった理由として、当時の社会の仕組みを正しく説明しているものを選びなさい。

(2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. 幕府が大坂を政治の拠点と定め、全国の商人に大坂への移住と独占的な商売を強制したから

2. 大坂周辺で大規模な新田開発が行われ、日本で生産される米の半分以上が大坂産となったから

3. 鎖国体制下において、大坂が唯一の外国貿易港として認められ、海外の珍しい品物が大量に流入したから

4. 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資を集めたから
- 問8 大阪市で見られる「瀬戸内式の気候」において、年間を通じて降水量が比較的少なくなる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2022年 栃木県公立入試 類似)

1. 夏と冬の季節風が、それぞれ四国山地と中国山地に遮られるため。

2. シベリア高気圧の影響を一年中強く受け、乾燥した空気が滞留するため。

3. 標高の高い地域に位置しており、湿った空気が到達する前に雨を降らせるため。

4. 寒流である親潮の影響により、上昇気流が発生しにくいから。
- 問9 三重県の志摩半島周辺では、真珠の養殖が非常に盛んです。このような水産業が発展した背景にある、この地域の地形的特徴と、それが養殖に適している理由の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。

(2016年 佐賀県公立入試 類似)

1. 遠浅の大陸棚が広がっており、太陽光が海底まで届きやすく真珠貝の成長が早いから。

2. 寒流と暖流がぶつかる潮目にあたるため、プランクトンが豊富で真珠貝の餌が多いから。

3. 大規模な干拓地が形成されており、真珠を加工するための工場を沿岸部に建設しやすいから。

4. リアス海岸に見られる波の穏やかな入り江が、繊細な真珠貝の管理に適しているから。
- 問10 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖と、その周辺地域との関わりについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。

(2021年 山口県公立入試 類似)

1. 日本海側に面した大規模な潟湖であり、古くから東北地方との交易の中継地点として発展してきた。

2. 静岡県に位置する汽水湖であり、周辺ではうなぎの養殖や楽器の製造などの工業が盛んである。

3. 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える貴重な資源となっている。

4. 滋賀県内のみで完結する農業用水として利用されており、他府県の工業地帯へ供給されることはない。
- 問11 戦国時代、織田信長が現在の滋賀県にある琵琶湖東岸に安土城を築いた理由として、当時の交通や地理的条件から考えられる背景として最も適切なものはどれですか。

(2016年 茨城県公立入試 類似)

1. 四方を山に囲まれた盆地特有の気候を活かし、鉄砲の原料となる硝石を効率よく生産するため。

2. 内陸県特有の険しい山岳地帯を利用して、周辺諸国からの武力侵攻を完全に遮断するため。

3. 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海から京都へつながる陸上交通の要所を支配するため。

4. 海に面していないことを利用し、当時対立していた瀬戸内海を拠点とする海軍の攻撃を避けるため。
- 問12 大阪府と、その周辺に位置する兵庫県、奈良県、和歌山県の経済・人口統計を比較した記述として、正しいものはどれですか。

(2016年 長崎県公立入試 類似)

1. 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺の3県を合わせた合計数よりも多い。

2. 大阪府の企業数は周辺の3県とほぼ同等であるが、一つの企業あたりの従業員数が極端に多いため人口流入が起きている。

3. 大阪府は周辺の3県と比較して昼間人口よりも夜間人口の方が多く、典型的な住宅都市としての特徴を持っている。

4. 兵庫県、奈良県、和歌山県の3県はいずれも、大阪府と同様に夜間人口よりも昼間人口の方が多い。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大阪市	大阪府は瀬戸内海沿岸に位置していますが、夏から秋にかけては梅雨や台風の影響で降水量が多くなり、冬は北西の季節風が山地によって遮られるため、乾燥して降水量が少なくなるとい う太平洋側の気候に近い特色を持っています。対して、日本海側に近い福岡市などは冬にある 程度の降水量が見られ、内陸のさいたま市とは降水量の年変化の幅が異なります。
問2	答え 3 奈良県	奈良県は、かつての都（平城京）が置かれていた歴史から、文化財が非常に豊富であることが 特徴です。生活面では、大阪市のベッドタウンとして大規模な住宅地開発が進んできましたが 、公共交通機関だけでなく日常生活の足として自動車への依存度が高いため、統計上でも100 世帯あたりの乗用車保有台数が1世帯に1台以上の割合（111台超）となっています。
問3	答え 1 輸送用機械が最大のシェアを占める点は共通 しているが、三重県の方が食品や鉄鋼など幅 広い部門が上位に含まれる。	三重県と愛知県はともに日本屈指の工業地帯である中京工業地帯に位置し、自動車を中心とし た輸送用機械が産業の柱となっています。愛知県は輸送用機械への集中度が極めて高い（約55 %）のに対し、三重県は輸送用機械が約34%で最大シェアではあるものの、食品、鉄鋼、化学 といった多様な工業部門が一定の割合を保持しており、産業構成に広がりがあることが統計上 の大きな特徴です。
問4	答え 2 奈良県	昼夜間人口比率が90.0という数値は、全国的に見ても非常に低い水準であり、都市部へ人口が 流出するベッドタウン特有の数値です。選択肢のうち、広大な面積を持ち人口密度が極めて低 い北海道や、過疎化の課題を抱えるものの都市部への通勤圏とは言い難い鳥取県・秋田県と比 較して、大阪の通勤圏である奈良県がこの統計に最もよく当てはまります。
問5	答え 1 都市近郊農業	大都市の周辺で、輸送コストを抑えつつ新鮮な農産物を供給する農業を都市近郊農業と呼びま す。大阪府などの大都市圏では、限られた農地を有効活用し、市場の需要が高い野菜を重点的 に生産する傾向があります。
問6	答え 2 北端の日本海側には若狭湾などの沿岸低地が 見られ、中央部には標高の高い山地が険しく そびえ、南端の太平洋側にはリアス海岸や沿 岸低地が分布する。	近畿地方の地形を断面で見ると、日本海側の若狭湾周辺や大阪湾周辺、そして南の志摩半島周 辺などの沿岸部は標高が低いですが、中央部から南部にかけては紀伊山地などの険しい山地が 大きく盛り上がった形状を示します。このように、土地の起伏を垂直方向の断面で示したもの を地形断面図と呼び、標高の差がはっきりと表れる近畿地方では、中央部の山地と両端の低地 のコントラストが明確に描かれます。
問7	答え 4 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣 を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資 を集めたから	当時の大名たちは、武士に支払う給料や参勤交代の費用を捻出するために、領内の米や特産物 を現金化する必要がありました。瀬戸内海などの海上交通の利便性が高かった大坂には多くの 蔵屋敷が並び、専門の商人を通じて物資が全国へ流通したことが、大坂が商業の中心地となっ た主な要因です。
問8	答え 1 夏と冬の季節風が、それぞれ四国山地と中国 山地に遮られるため。	瀬戸内式の気候が乾燥する主な要因は、周囲の山地による季節風の遮断です。夏は南東の季節 風が四国山地にぶつかって太平洋側に雨を降らせ、冬は北西の季節風が中国山地にぶつかって 日本海側に雪を降らせます。その結果、山地に挟まれた大阪市周辺には湿った空気が入りにく くなり、年間を通じて温暖で晴天の多い、降水量の少ない気候が形成されます。
問9	答え 4 リアス海岸に見られる波の穏やかな入り江が 、繊細な真珠貝の管理に適しているため。	三重県志摩半島付近の海岸は、山地が沈み込んできた複雑な屈曲を持つリアス海岸となっ ています。入り江の内部は外海の影響を受けにくく波が穏やかであるため、真珠の核を挿入した アコヤガイを籠に入れて吊るしておく養殖に適しています。こうした自然環境の利点を活かし て、三重県は真珠養殖の発祥地の一つとして発展してきました。
問10	答え 3 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪 府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える 貴重な資源となっている。	琵琶湖から流れ出る水は、瀬田川、宇治川、そして淀川へと名前を変えながら大阪湾へと注ぎ ます。この過程で、京阪神大都市圏の膨大な人口の生活用水や、阪神工業地帯の工業用水とし て活用されており、近畿地方の経済・生活基盤において不可欠な存在です。なお、選択肢にあ る霞ヶ浦は茨城県、浜名湖は静岡県、中海は島根県と鳥取県にまたがる湖です。
問11	答え 3 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海か ら京都へつながる陸上交通の要所を支配する ため。	滋賀県（当時の近江国）は、北陸地方や東海地方から京都へ向かう際に必ず通る交通の要衝で した。琵琶湖は単なる湖ではなく、大量の物資を運ぶ水上ルートとして活用されており、信長 はその利便性に注目しました。京都に近いこの地に拠点を置くことで、物資の流通や情報の把 握を容易にし、天下統一を有利に進める狙いがありました。
問12	答え 1 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺 の3県を合わせた合計数よりも多い。	大阪府は近畿地方の経済の中心地であり、約34.3万社という膨大な数の企業が立地しています 。この数は、周辺の兵庫県、奈良県、和歌山県の企業数をすべて合計した数をも上回る圧倒的 な規模です。このような経済基盤の集中があるため、周辺府県から多くの雇用を創出し、結果 として昼間人口の流入を招いています。